

受変電棟空調設備更新工事 工事仕様書

1 目的

受変電棟において、経年劣化した空調設備を更新し、排水処理施設受変電設備の維持管理に万全を図る。

2 施工内容

(1) 機器仕様

型 式	空冷式パッケージ形空気調和機（圧縮機屋外形） 天井吊形屋内機、耐重塩害仕様床置形屋外機
能 力	冷房能力 2 5 kW、暖房能力 2 8 kW
構 成	屋内機 1 台・屋外機 1 台で 1 組（シングル）
設置数	2 組
電 源	三相 2 0 0 V、5 0 Hz
冷 媒	R 3 2
付属品	壁設置式有線リモコン、防振ゴム、その他設置に必要なもの
機 能	停電復帰後に自動運転開始
その他	空調機の選定に当たっては、省エネ性能及び節電性能、耐久性、信頼性、メンテナンススペース、操作の簡便性等を考慮すること。

(2) 施工内容

受変電棟内の空調設備 2 組を令和 8 年度に更新を行う。空調設備更新の際の主な施工内容は次のとおり。

ア 受変電棟内の受変電設備の機器仕様の確認

イ 既設空調設備の撤去

（冷媒管・ドレン管・電源ケーブル・連絡ケーブル・保温・リモコン含む）

ウ 更新空調設備の設置

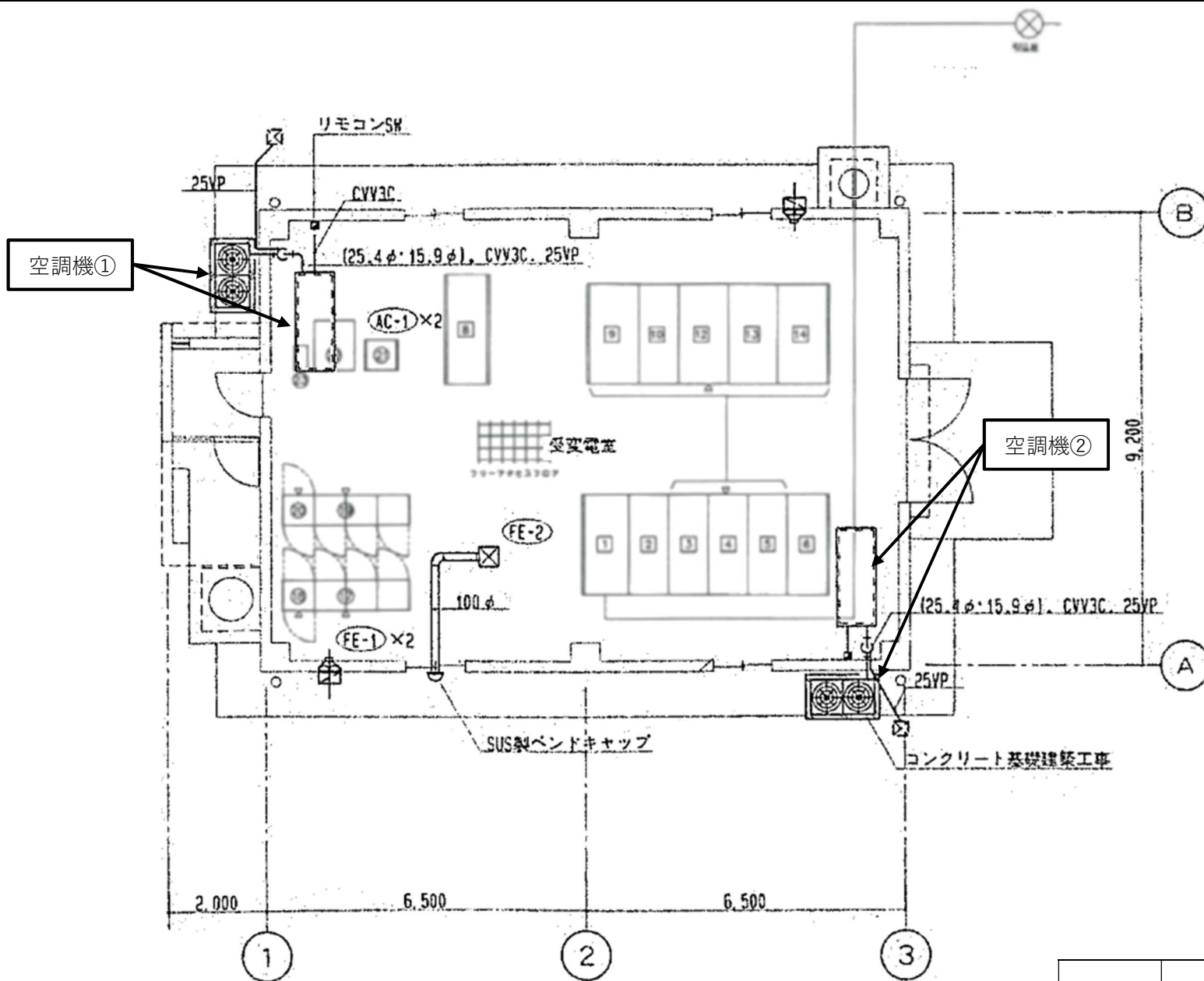
（冷媒管・ドレン管・電源ケーブル・連絡ケーブル・保温・リモコン含む）

エ 室内機設置の際には、必要に応じて天井の加工及び補修を行う。

オ 既設電気設備からの電源供給を確認し、必要に応じて電氣的な保護装置の見直しを行うこと。

3 施工時の注意事項

- (1) 冷媒ガス回収の際、漏洩・拡散しないよう十分注意し、適正に回収・処分すること。
- (2) 機器が地震等で転倒しないよう、転倒防止措置を講じること。
- (3) 記載されていない仕様項目については、公共建築工事標準仕様書による。



建築図面に盤レイアウトを追記

図面名	受変電棟空調換気設備平面図
縮尺	NotScale